

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	臨床医学総論		
必修選択	選択	(学則表記)	臨床医学総論		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)		出版社	一般社団法人 日本病院会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①疾患の原因を解剖生理学の観点から理解する ②各疾患に特異的な用語を習得する		
到達目標	①該当領域における主要な疾患の名称を覚える ②解剖生理学の知識をもとに、疾患の原因を理解する ③各病気に関連する重要用語を覚える		
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	診療情報管理士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	津村 典利	実務経験	○
実務内容	北海道内の病院にて産婦人科の医師として 30 年以上従事する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	病気になる原因	1. 健康と疾病 2. 疾病の原因
2	病気になる原因	3. 病気による組織・臓器の病理的变化 4. 病気の診断 5. 検査所見①(血液所見、尿検査)
3	病気になる原因	5. 検査所見②(画像検査以降) 6. 治療の方針
4	先天奇形、変形および染色体異常	1. 神経系の先天奇形 2. 眼、耳、顔面および頸部の先天奇形
5	先天奇形、変形および染色体異常	3. 呼吸器系の先天奇形 4. 唇裂および口蓋裂 5. 消化器系のその他の先天奇形

6	先天奇形、変形および 染色体異常	6. 生殖器の先天奇形 7. 腎尿路系の先天奇形 8. 筋骨格系の先天奇形および変形 9. 染色体異常、他に分類されないもの
7	損傷、中毒、 その他の外因の影響	1. 軟部組織の損傷
8	損傷、中毒、 その他の外因の影響	2. 各部位の損傷① (頭部損傷～胸部損傷)
9	損傷、中毒、 その他の外因の影響	2. 各部位の損傷② (腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷)
10	損傷、中毒、 その他の外因の影響	2. 各部位の損傷③ (肩および上腕の損傷～手首および手の損傷)
11	損傷、中毒、 その他の外因の影響	2. 各部位の損傷④ (股関節部および大腿の損傷～足首および足の損傷)
12	損傷、中毒、 その他の外因の影響	3. 薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒
13	損傷、中毒、 その他の外因の影響	4. 薬用を主としない物質の毒作用① (アルコール～農薬)
14	確認テスト	これまで学習した内容のテスト
15	損傷、中毒、 その他の外因の影響	4. 薬用を主としない物質の毒作用② (海産食品～その他) テスト内容の振り返り
16	総まとめ①	3 章の総まとめ①を実施
17	総まとめ②	3 章の総まとめ②を実施
18	総まとめ③	3 章の総まとめ③を実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	臨床医学各論 I		
必修選択	選択	(学則表記)	臨床医学各論 I		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	・ 診療情報管理 I (基礎・医学編) ・ 診療情報管理士教育問題集		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①疾患の原因を解剖生理学の観点から理解する ②各疾患に特異的な用語を習得する		
到達目標	①該当領域における主要な疾患の名称を覚える ②解剖生理学の知識をもとに、疾患の原因を理解する ③各病気に関連する重要用語を覚える		
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	診療情報管理士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	津村 典利	実務経験	○
実務内容	北海道内の病院にて産婦人科の医師として 30 年以上従事する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 腸感染症・結核	コレラ～ウイルス性下痢症、肺結核～粟粒結核
2	人畜共通細菌性疾患	ペスト～レプトスピラ症
3	その他の細菌性疾患	ハンセン症～百日咳 猩紅熱～レジオネラ症、細菌の分類
4	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒～トリコモナス症
5	その他のスピロヘータ疾患	回帰熱～ライム病

6	クラミジアによる その他の疾患、リケッチア症	オウム病～トラコーマ、発疹チフス～Q 熱
7	中枢神経系のウイルス感染症	急性灰白髄炎～日本脳炎
8	節足動物媒介ウイルス熱、 皮膚・粘膜病変ウイルス感染症	デング熱～ラッサ熱、ヘルペスウイルス感染症～尋常性疣贅
9	ウイルス肝炎	急性ウイルス肝炎、慢性ウイルス肝炎
10	ヒト免疫不全ウイルス病	HIV 病および HIV 関連日和見感染症
11	その他のウイルス疾患	サイトメガロウイルス病～コロナウイルス感染症
12	真菌症、原虫疾患	皮膚糸状菌症～接合菌症 マラリア～ニューモシスチス肺炎
13	ぜん虫症、シラミ症、ダニ症	住血吸虫症～アニサキス症、疥癬
14	確認テスト	主要疾患テスト
15	テスト解説	テスト内容の振り返り、解説
16	総まとめ①	これまで学習した総まとめ①を実施
17	総まとめ②	これまで学習した総まとめ②を実施
18	総まとめ③	これまで学習した総まとめ③を実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	臨床医学各論 II		
必修選択	選択	(学則表記)	臨床医学各論 II		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理 I (基礎・医学編)		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①疾患の原因を解剖生理学の観点から理解する ②各疾患に特異的な用語を習得する		
到達目標	①該当領域における主要な疾患の名称を覚える ②解剖生理学の知識をもとに、疾患の原因を理解する ③各病気に関連する重要用語を覚える		
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	診療情報管理士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	飯島 誠	実務経験	○
実務内容	国内の病院にて循環・呼吸器分野、集中治療部門に約 20 年間従事する。 また大学院講師として生理医理講座も担当している。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 新生物概論・悪性新生物	新生物とは、新生物の分類 1. 口唇、口腔および咽頭の悪性新生物
2	悪性新生物	2. 消化器の悪性新生物① 食道癌、胃癌
3	悪性新生物	2. 消化器の悪性新生物② 消化管間葉系腫瘍～大腸癌
4	悪性新生物	2. 消化器の悪性新生物③ 肝・胆道系の悪性新生物
5	悪性新生物・確認テスト	2. 消化器の悪性新生物④ 膵癌

6	悪性新生物	3. 呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物
7	悪性新生物	4. 骨および関節軟骨の悪性新生物 5. 皮膚の黒色腫およびその他の悪性新生物 6. 中皮および軟部組織の悪性新生物
8	悪性新生物	7. 乳房の悪性新生物
9	悪性新生物	8. 女性生殖器の悪性新生物
10	悪性新生物・確認テスト	9. 男性生殖器の悪性新生物
11	悪性新生物	10. 腎尿路の悪性新生物
12	悪性新生物	11. 眼、脳およびその他の中枢神経系の部位の悪性新生物 12. 甲状腺およびその他の内分泌腺の悪性新生物
13	悪性新生物	13. リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物 ①悪性リンパ腫、多発性骨髄腫 ②白血病 14. 上皮内新生物
14	確認テスト	これまで学習した内容のテスト
15	良性新生物	15. 良性新生物 テストの内容の振り返り
16	総まとめ①	これまで学習した総まとめ①を実施
17	総まとめ②	これまで学習した総まとめ②を実施
18	総まとめ③	これまで学習した総まとめ③を実施

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	臨床医学各論Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	臨床医学各論Ⅲ		
開講			単位数	時間数	
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）		出版社	一般社団法人日本病院会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	①疾患の原因を解剖生理学の観点から理解する ②各疾患に特異的な用語を習得する				
到達目標	①該当領域における主要な疾患の名称を覚える ②解剖生理学の知識をもとに、疾患の原因を理解する ③各病気に関連する重要用語を覚える				
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	飯島 誠		実務経験	○	
実務内容	国内の病院にて循環・呼吸器分野、集中治療部門に約 20 年間従事する。 また大学院講師として生理医理講座も担当している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	血液系概論 (血液の組成、血液疾患の主要症状)
2	血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	1. 栄養性貧血・小テスト実施
3	血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	2. 溶血性貧血・小テスト実施
4	血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	3. 無形成性貧血およびその他の貧血・小テスト実施
5	血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	4. 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態・小テスト実施

6	血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	5. 血液および造血器のその他の疾患 6. 免疫機構の障害・確認テスト実施
7	内分泌、栄養および代謝疾患	内分泌系概論（内分泌とは、内分泌疾患、ホルモンの生成と作用） 1. 甲状腺障害①・小テスト実施
8	内分泌、栄養および代謝疾患	1. 甲状腺障害②・小テスト実施
9	内分泌、栄養および代謝疾患	2. 糖尿病・小テスト実施
10	内分泌、栄養および代謝疾患	3. その他のグルコース調節および膵内分泌障害 4. その他の内分泌腺障害①・小テスト実施
11	内分泌、栄養および代謝疾患	4. その他の内分泌腺障害②・小テスト実施
12	内分泌、栄養および代謝疾患	4. その他の内分泌腺障害③・確認テスト実施
13	内分泌、栄養および代謝疾患	5. 栄養失調症 6. その他の栄養欠乏症 7. 肥満その他の過栄養 8. 代謝障害①・小テスト実施
14	内分泌、栄養および代謝疾患	8. 代謝障害②・小テスト実施
15	内分泌、栄養および代謝疾患	8. 代謝障害③
16	総まとめ①	これまで学習した総まとめ①を実施
17	総まとめ②	これまで学習した総まとめ②を実施
18	総まとめ③	これまで学習した総まとめ③を実施

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	臨床医学各論Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	臨床医学各論Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）		出版社	一般社団法人 日本病院会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	①疾患の原因を解剖生理学の観点から理解する ②各疾患に特異的な用語を習得する				
到達目標	①該当領域における主要な疾患の名称を覚える ②解剖生理学の知識をもとに、疾患の原因を理解する ③各病気に関連する重要用語を覚える				
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐藤 友哉		実務経験	○	
実務内容	北海道内の病院にて循環器内科の医師として 8 年間従事				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 精神および行動の傷害	1. 症状性を含む器質性精神障害 2. 精神作用物質使用による精神および行動の障害
2	精神および行動の傷害	3. 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害 4. 気分障害 5. 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害
3	精神および行動の傷害	6. 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 7. 成人のパーソナリティおよび行動の障害
4	精神および行動の傷害	8. 知的障害 9. 心理的発達の障害 10. 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害
5	神経系の疾患	1. 中枢神経系の炎症性疾患 2. 主に中枢神経を障害する系統萎縮症

6	神経系の疾患	3. 錐体外路障害および異常運動 4. 神経系のその他の変性疾患
7	神経系の疾患	5. 中枢神経系の脱髄疾患 6. 挿間性および発作性障害
8	神経系の疾患	7. 神経、視神経および神経叢の障害 8. 多発性ニューロパシーおよびその他の末梢神経系の障害
9	神経系の疾患	9. 神経筋接合部および筋の疾患 10. 脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群 11. 神経系のその他の障害
10	眼および付属器の疾患	1. 眼瞼、涙器および眼窩の障害 2. 結膜の障害
11	眼および付属器の疾患	3. 水晶体の障害 4. 脈絡膜および網膜の障害 5. 緑内障
12	眼および付属器の疾患	6. 硝子体および眼球の障害 7. 視神経および視路の障害 8. 眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害
13	耳および乳様突起の疾患	1. 外耳疾患 2. 中耳および乳様突起の疾患
14	確認テスト	単元の確認テスト
15	テストの振り返り	テスト内容の振り返り、解説
16	総まとめ①	これまで学習した総まとめ①を実施
17	総まとめ②	これまで学習した総まとめ②を実施
18	総まとめ③	これまで学習した総まとめ③を実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	臨床医学各論 V		
必修選択	選択	(学則表記)	臨床医学各論 V		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理 I (基礎・医学編)		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①疾患の原因を解剖生理学の観点から理解する ②各疾患に特異的な用語を習得する		
到達目標	①該当領域における主要な疾患の名称を覚える ②解剖生理学の知識をもとに、疾患の原因を理解する ③各病気に関連する重要用語を覚える		
評価基準	確認テスト 40%、小テスト 30%、授業姿勢 30%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	診療情報管理士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	山本 浩史	実務経験	○
実務内容	北海道内の病院にて小児科と外科・小児外科の医師として 35 年以上従事する。現在は院長補佐として勤務している。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 循環器系の疾患	1. 急性リウマチ熱 2. 慢性リウマチ性心疾患
2	循環器系の疾患	3. 循環器系の先天奇形
3	循環器系の疾患	4. 高血圧性疾患
4	循環器系の疾患	5. 低血圧症 6. 虚血性心疾患
5	循環器系の疾患	7. 肺性心疾患および肺循環疾患

6	循環器系の疾患	8. その他の型の心疾患
7	循環器系の疾患	9. 脳血管疾患
8	循環器系の疾患	10. 動脈、細動脈および毛細血管の疾患
9	循環器系の疾患	11. 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患
10	呼吸器系の疾患	1. 急性上気道感染症 2. インフルエンザおよび肺炎 3. その他の急性下気道感染症
11	呼吸器系の疾患	4. 上気道のその他の疾患 5. 慢性下気道疾患
12	呼吸器系の疾患	6. 外的因子による肺疾患 7. 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患
13	呼吸器系の疾患	8. 下気道の化膿性および壊死性病態 9. 胸膜のその他の疾患 10. 呼吸器系のその他の疾患
14	確認テスト	単元の確認テスト
15	テストの振り返り	テスト内容の振り返り、解説
16	総まとめ①	これまで学習した総まとめ①を実施
17	総まとめ②	これまで学習した総まとめ②を実施
18	総まとめ③	これまで学習した総まとめ③を実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	臨床医学各論VI		
必修選択	選択	(学則表記)	臨床医学各論VI		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 基礎・医学編		出版社	一般社団法人 日本病院会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①疾患の原因を解剖生理学の観点から理解する ②各疾患に特異的な用語を習得する		
到達目標	①該当領域における主要な疾患の名称を覚える ②解剖生理学の知識をもとに、疾患の原因を理解する ③各病気に関連する重要用語を覚える		
評価基準	小テスト 3 0 %、確認テスト 4 0 %、授業態度 3 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	診療情報管理士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	山本 浩史	実務経験	○
実務内容	北海道内の病院にて小児科と外科・小児外科の医師として 35 年以上従事する。現在は院長補佐として勤務している。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	消化器系の主症状と検査	食道、胃・十二指腸、小腸・大腸における主症状と検査項目
2	消化器系の疾患①	1. 口腔、唾液腺および顎の疾患
3	消化器系の疾患②	2. 食道、胃および十二指腸の疾患
4	消化器系の疾患③	3. 虫垂の疾患 4. ヘルニア
5	消化器系の疾患④	5. 非感染性腸炎および非感染性大腸炎

6	消化器系の疾患⑤	6. 腸のその他の疾患 7. 腹膜の疾患 8. 肝疾患
7	消化器系の疾患⑥	9. 胆嚢、胆管および膵の障害（主な疾患） 10. 消化器系のその他の疾患
8	泌尿器系の主症状と検査 泌尿器系の疾患①	腎臓における主症状と検査項目 1.糸球体疾患
9	泌尿器系の疾患②	2. 腎尿細管間質性疾患
10	泌尿器系の疾患③	3. 腎不全
11	泌尿器系の疾患④	4. 尿路結石症
12	泌尿器系の疾患⑤	5. 腎および尿管のその他の障害 6. 尿路系のその他の疾患 7. 男性生殖器の疾患
13	泌尿器系の疾患⑥	8. 乳房の障害 9. 女性骨盤臓器の炎症性疾患 10. 女性生殖器の非炎症性疾患
14	確認テスト	1～16 までの総まとめテスト
15	テストの振り返り	テストの内容を振り返り、消化器系、泌尿器系の疾患に関する理解度を高める。
16	総まとめ①	これまで学習した総まとめ①を実施
17	総まとめ②	これまで学習した総まとめ②を実施
18	総まとめ③	これまで学習した総まとめ③を実施

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	臨床医学各論Ⅶ		
必修選択	選択	(学則表記)	臨床医学各論Ⅶ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理Ⅰ（基礎医学編）		出版社	一般社団法人日本病院会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	①疾患の原因を解剖生理学の観点から理解する ②各疾患に特異的な用語を習得する				
到達目標	①該当領域における主要な疾患の名称を覚える ②解剖生理学の知識をもとに、疾患の原因を理解する ③各病気に関連する重要用語を覚える				
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	津村 典利		実務経験	○	
実務内容	北海道内の病院にて産婦人科の医師として 30 年以上従事する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	序論	排卵から受精、着床、妊娠、分娩までの流れ、正常妊娠について
2	妊娠、分娩および産褥	正常妊娠・正常分娩
3	妊娠、分娩および産褥	1／異所性妊娠
4	妊娠、分娩および産褥	1／異所性妊娠続き、胎状奇胎
5	妊娠、分娩および産褥	1／自然流産

6	妊娠、分娩および産褥	2／妊娠高血圧症候群、3／妊娠悪阻
7	妊娠、分娩および産褥	4／多胎妊娠、胎位異常、回旋進入の異常
8	妊娠、分娩および産褥	4／児頭骨盤不均衡、羊水過多症、羊水過少症
9	妊娠、分娩および産褥	4／前期破水、前置胎盤、胎盤早期剥離、過期妊娠
10	妊娠、分娩および産褥	5／早産、微弱陣痛、遷延分娩、分娩における会陰裂傷、その他の産科的外傷、弛緩出血
11	妊娠、分娩および産褥	6／分娩、7／産褥性敗血症、羊水塞栓症
12	周産期に発生した病態	低出産体重児、新生児仮死、新生児呼吸窮迫症候群
13	周産期に発生した病態	新生児一過性多呼吸、新生児溶血性疾患、核黄疸、新生児黄疸
14	確認テスト	第 1 回～第 13 回で学習した内容に関する確認テストの実施
15	テストの振り返り	確認テストの内容の振り返り
16	総まとめ①	これまで学習した総まとめ①を実施
17	総まとめ②	これまで学習した総まとめ②を実施
18	総まとめ③	これまで学習した総まとめ③を実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	臨床医学各論Ⅷ		
必修選択	選択	(学則表記)	臨床医学各論Ⅷ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理Ⅰ（基礎医学編）		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①疾患の原因を解剖生理学の観点から理解する ②各疾患に特異的な用語を習得する		
到達目標	①該当領域における主要な疾患の名称を覚える ②解剖生理学の知識をもとに、疾患の原因を理解する ③各病気に関連する重要用語を覚える		
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	診療情報管理士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	津村 典利	実務経験	○
実務内容	北海道内の病院にて産婦人科の医師として 30 年以上従事する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	序論	皮膚科症状の主症状と治療法
2	皮膚および皮下組織の疾患	1/蜂巣炎、2/尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、水疱性類天疱瘡、3/アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎
3	皮膚および皮下組織の疾患	3/接触性皮膚炎、貨幣状皮膚炎、異汗症、自家感作性皮膚炎、薬疹、痒疹
4	皮膚および皮下組織の疾患	4/乾癬、5/蕁麻疹、多型紅斑、スティーブンス・ジョンソン症候群、結節性紅斑、6/放射線皮膚炎
5	皮膚および皮下組織の疾患	7/円形脱毛症、ざ瘡、尋常性ざ瘡、表皮嚢胞、8/脂漏性角化症、褥瘡、

6	皮膚および皮下組織の疾患	8／エリテマトーデス、強皮症、ヘノッホ・シェーンライン症候群、白癬、カンジダ症
7	皮膚および皮下組織の疾患	8／癩風、带状疱疹、疣贅、母斑、悪性黒色腫、9／基底細胞癌、有棘細胞癌
8	筋骨格系および結合組織の疾患	1／化膿性関節炎、関節リウマチ、若年性関節リウマチ、成人スチル病、痛風
9	筋骨格系および結合組織の疾患	2／結節性多発動脈炎、川崎病、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎・皮膚筋炎
10	筋骨格系および結合組織の疾患	2／全身性硬化症、ベーチェット病 3／脊柱側弯症、脊椎分離症、脊椎すべり症、
11	筋骨格系および結合組織の疾患	3／脊柱管狭窄症、強直性脊椎炎、頸椎椎間板ヘルニア、腰椎椎間板ヘルニア
12	筋骨格系および結合組織の疾患	4／筋炎、筋の石灰化および骨化、滑膜炎および腱鞘炎、その他
13	筋骨格系および結合組織の疾患	5／骨粗鬆症、骨軟化症・くる病、骨髄炎、
14	確認テスト	第 1 回～第 13 回で学習した内容に関する確認テストの実施
15	振り返り	確認テストの内容の振り返り
16	総まとめ①	これまで学習した総まとめ①を実施
17	総まとめ②	これまで学習した総まとめ②を実施
18	総まとめ③	これまで学習した総まとめ③を実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	医療管理総論		
必修選択	選択	(学則表記)	医療管理総論		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理Ⅲ		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①「人的資源」、「物的資源」、「財的資源」、「情報資源」について理解する。 ②医療関連法規と共に日本の医療制度についての知識を習得する。		
到達目標	①診療情報管理士病院実習・就職に必要な診療情報管理士の知識を習得する。 ②認定試験に必要な知識を習得する。		
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	診療情報管理士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	鈴木留奈	実務経験	○
実務内容	医療事務職員として半年勤務（入院算定が主） 診療情報管理士として 5 年半勤務（診療情報担当係として）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1-1 医療資源	1-1-1 物的資源
2	1-1 医療資源	1-1-2 人的資源(P13～P16)
3	1-1 医療資源	1-1-2 人的資源 (P17～P22) 1-1-3 財的資源 1-1-4 情報資源
4	1-2 日本の医療制度	1-2-1 医療保障 1-2-2 医療制度の詳細 (P25～P30) 医療保険・公費負担医療・任意保険
5	1-2 日本の医療制度	1-2-2 医療制度の詳細 (P30～P33) 医療制度の特徴・医療制度の成り立ち・医療法・諸外国の医療制度

6	1-2 日本の医療制度 1-3 医療の需要と供給	1-2-3 国民医療費の現状と将来 1-3-1 人口の推移
7	1-4 地域医療	1-3-2 医療需要・医療供給 1-3-3 顕在需要と潜在需要 1-4-1 地域医療
8	1-4 地域医療	1-4-2 医療の提供構造 1-4-3 医療計画
9	1-4 地域医療	1-4-3 医療計画 医療計画の内容
10	1-5 医療関連の法規定	1-5-1 医療と保健衛生活動に関する法規
11	1-5 医療関連の法規定	1-5-2 社会保障や保健および福祉に関する法規 1-5-3 医療費支払い保険制度に関する法規 1-5-4 その他、病院の医療活動に関する主な法規
12	1-5 医療関連の法規定	1-5-5 健康に関する主な法規 1-5-6 感染症法 1-5-7 医薬品などに関する法規
13	1-5 医療関連の法規定	1-5-8 災害時に適用される法規 1-5-9 職員に関する法規
14	評価テスト	評価テストの実施
15	1-5 医療関連の法規定	1-5-10 がん対策基本法・がん対策推進計画（2次） 1-5-11 個人情報の保護に関する法律と指針（ガイドライン）
16	総まとめ①	評価テストの解説・総まとめ
17	総まとめ②	総まとめ
18	総まとめ③	総まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	医療管理各論Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	医療管理各論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理Ⅲ		出版社	一般社団法人日本病院会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	①医療保険制度や DPC 制度、介護保険制度の知識を習得する。 ②診療情報管理士の実務に必要な DPC/PDPS の知識を習得する。				
到達目標	①診療情報管理士病院実習・就職に必要な診療情報管理士の知識を習得する。 ②認定試験に必要な知識を習得する。				
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	赤塚 真里		実務経験	○	
実務内容	病院(受付業務、レセプト点検、カルテ管理、サマリー業務)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	3-1 医療保険制度	3-1-1 医療保険の種類と保険給付・保険外給付
2	3-1 医療保険制度	3-1-2 わが国の診療報酬制度 3-1-3 保険診療と医療費の支払いの仕組み
3	3-1 医療保険制度／小テスト	3-1-4 診療報酬の請求について
4	3-2 わが国の診断群分類	3-2-1 ケースミックス区分法と診断群分類 3-2-2 わが国の診断群分類誕生の背景
5	3-2 わが国の診断群分類	3-2-3 DPC ・DPC 対象患者 ・DPC の構造
6	3-2 わが国の診断群分類	3-2-3 DPC ・実際の DPC 選択の例

7	3-2 わが国の診断群分類	3-2-4 DPC と包括評価
8	3-2 わが国の診断群分類	3-2-4 DPC と包括評価 ・ DPC による包括支払いの算定方法
9	3-2 わが国の診断群分類	3-2-4 DPC と包括評価 ・ 基礎係数の導入と医療機関群の設定 ・ 基礎係数（医療機関群）について
10	3-2 わが国の診断群分類	3-2-4 DPC と包括評価 ・ 機能評価係数Ⅱについて ・ 機能評価係数Ⅱの見直し：2018 年度
11	3-2 わが国の診断群分類／小テスト	3-2-4 DPC と包括評価 ・ DPC/PDPS 算定の一例（事例）
12	3-3 介護保険制度の概要	・ 介護保険制度創設の経緯 ・ 介護保険制度創設 ・ 介護保険制度のしくみ
13	3-3 介護保険制度の概要 3-4 介護保険制度の概要	・ 申請からサービス利用開始までの流れ ・ 介護報酬の請求
14	評価テスト	評価テスト
15	振り返り	解説と総まとめ
16	総まとめ①	3 章の総まとめ①を実施
17	総まとめ②	3 章の総まとめ②を実施
18	総まとめ③	3 章の総まとめ③を実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	医療管理各論Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	医療管理各論Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理Ⅲ		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	医療安全、医療の質管理、院内データの活用について習得する。		
到達目標	①診療情報管理士病院実習・就職に必要な診療情報管理士の知識を習得する。 ②認定試験に必要な知識を習得する。		
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	診療情報管理士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	鈴木留奈	実務経験	○
実務内容	医療事務職員として半年勤務（入院算定が主） 診療情報管理士として 5 年半勤務（診療情報担当係として）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	4-1 安全管理	4-1-1 医療安全概論
2	4-1 安全管理	4-1-2 医療におけるリスクマネジメント
3	4-1 安全管理	4-1-3 ヒューマンエラー
4	4-1 安全管理	4-1-4 医療事故と医療過誤、医事紛争 「診療記録と医療事故」「医療事故」「医療事故対策」「医療安全管理者の配置と役割」
5	4-1 安全管理	4-1-4 医療事故と医療過誤、医事紛争 「医事紛争・訴訟に関わる概念・用語」「医療訴訟の現状」 「医療訴訟の原因と対策」「医療事故調査制度」

6	小テスト	4-1 小テスト & 解説
7	4-2 医療の質管理	4-2-1 医療の質と保証
8	4-2 医療の質管理	4-2-2 チーム医療における診療情報共有 4-2-3 医療の質マネジメントシステム
9	4-2 医療の質管理	4-2-4 医療の質の評価と公表 「診療情報の公開」「医療機能情報提供制度」「病床報告機能制度」 「病院情報の公表」「医療評価の目的」
10	4-2 医療の質管理	4-2-4 医療の質の評価と公表 「医療評価の歴史」「医療評価の方法」「質評価の実際」
11	小テスト	4-2 小テスト & 解説
12	4-3 診療情報管理における 診療報酬請求データの活用	4-3-1 医療マーケティング 4-3-2 診療情報管理におけるデータの活用
13	4-3 診療情報管理における 診療報酬請求データの活用	4-3-3 電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データ 4-3-4 診療情報管理データと医事会計データ
14	確認テスト	確認テストの実施
15	確認テストの振り返り・解説	確認テストの振り返り・解説
16	総まとめ①	4-1 まとめ
17	総まとめ②	4-2 まとめ
18	総まとめ③	4-3 まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	保健医療情報学		
必修選択	選択	(学則表記)	保健医療情報学		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理Ⅲ		出版社	一般社団法人日本病院会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	診療情報管理士として、病院情報システムに携わる際の基礎知識を習得する。				
到達目標	①診療情報管理士病院実習・就職に必要な診療情報管理士の知識を習得する。 ②認定試験に必要な知識を習得する。				
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	鈴木留奈		実務経験	○	
実務内容	医療事務職員として半年勤務（入院算定が主） 診療情報管理士として 5 年半勤務（診療情報担当係として）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	5-1 保健医療情報学とは	・情報の概念・保健医療情報学とは ・保健医療情報学と診療情報管理士
2	5-2 医療情報の特徴と種類	・医療情報と診療情報 ・診療情報の種類と特性
3	5-2 医療情報の特徴と種類	・診療情報の種類と特性 ・診療情報の一次利用と二次利用
4	5-3 行政が進める医療の情報化政策	・保健医療の情報化政策の歴史と関連法令 ・今後の方向性
5	5-4 医療情報システム	・医療情報システムとは ・病院情報システム概論 ・部門の業務を支える情報システム
6	5-4 医療情報システム	・オーダエントリシステム ・電子カルテシステム

7	同上	同上
8	5-4 医療情報システム	・地域医療情報システム
9	同上	同上
10	5-5 診療情報の二次利用 5-6 個人が管理する保健医療記録	・データウェアハウス ・医療ビッグデータ ・治験 ・次世代医療基盤法の成立 ・診療情報管理士の役割 ・HER と PHR ・実装の動向
11	5-7 医療情報の標準化	・標準化の枠組み ・医療情報の伝送・交換のための標準化 ・医療情報分野における用語・コードの標準化
12	5-7 医療情報の標準化 5-8 情報セキュリティ	・ICD10 対応標準病名マスター ・保健医療情報分野の標準規格 ・診療情報の安全管理 ・医療情報システムにおけるセキュリティ対策
13	5-8 情報セキュリティ	・医療情報システムの安全管理に関するガイドライン ・医療情報システムの安全管理 ・診療情報管理士として実践すべき事項
14	評価テスト	評価テストを実施
15	5-9 保健医療の情報化のこれから 5-10 人を対象とする 医学系研究に関する倫理指針	・保健医療の情報化のこれから ・人を対象とする医学系研究に関する倫理指針
16	総まとめ①	5 章の総まとめ①を実施
17	総まとめ②	5 章の総まとめ②を実施
18	総まとめ③	5 章の総まとめ③を実施

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	医療統計Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	医療統計Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	診療情報管理Ⅲ		出版社	一般社団法人日本病院会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	①統計学の用語を正しく理解し、統計的な考え方を習得する。 ②診療情報を活用するための基礎として統計処理の基礎知識、根拠に基づいた医療、データ処理の実際を学び、診療情報管理士に求められる診療情報のクオリティマネジメントの考え方を習得する。				
到達目標	①診療情報管理士病院実習・就職に必要な診療情報管理士の知識を習得する。 ②認定試験に必要な知識を習得する。				
評価基準	確認テスト 40％、小テスト 30％、授業姿勢 30％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	医療統計Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	吉井寛子		実務経験	○	
実務内容	実務経験 8 年・疾病登録・統計業務・がん登録・カルテ開示・サマリ作成率集計・データ検索・集計業務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 6-1 医療統計学の基本的な用語	医療統計学の基本的な用語について
2	6-2 データを要約する	データの要約の作業手順
3	同上	データの要約に用いる記述統計量 (量的データの記述統計量、代表値と散布度、質的データの記述統計量)
4	6-2 データを要約する 6-3 確立と確率分布	・生存時間変数の記述統計量 ・相対度数による確率、確率分布
5	6-4 正規分布	正規分布の性質について

6	同上	標準正規分布 $N(0, 1^2)$ 、標準正規分布を使った一般の正規分布の確率計算
7	6-5 2つの変数の相関を調べる	相関とは、相関係数、強い相関・弱い相関、相関分析の例、相関係数の解釈における注意点
8	6-6 一般の変数からもう一方の変数の値を予測する（回帰分析）	回帰分析の例
9	6-7 推測統計の基礎	推測統計で使われる用語の定義、身近で使われている推測統計、母集団と標本の関係、母集団と標本の記述に関する約束ごと
10	6-8 推定	推定の定義、推定の利用事例、点推定と区間推定
11	同上	実践的な推定方法のまとめ、推定の例
12	6-9 仮説検定	有意差検定、仮説検定の手順、帰無仮説と対立仮説、有意水準
13	同上	検定統計量、P 値、有意水準と P 値の関係、乳幼児データにおける喫煙群と非喫煙群の BW の母平均の有意差検定
14	確認テスト	医療統計 I の確認テスト
15	確認テスト振り返り・総まとめ 6-11 医学でよく使う仮説検定	・確認テストの振り返りと解説 ・医療データ検定でよく用いられる検定について

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	国際統計分類 I		
必修選択	選択	(学則表記)	国際統計分類 I		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理 III		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①わが国の人口動態統計の仕組みと意義を理解する。 ・ 国際疾病分類（歴史、現状など）の知識を習得する。 ・ 国際統計分類群（ファミリー）の知識を習得する。 ・ 原死因、主要病態選択ルールについて理解する。		
到達目標	①診療情報管理士病院実習・就職に必要な診療情報管理士の知識を習得する。 ②認定試験に必要な知識を習得する。		
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	診療情報管理士		
関連科目	国際統計分類Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	吉井寛子	実務経験	○
実務内容	実務経験 8 年・疾病登録・統計業務・がん登録・カルテ開示・サマリ作成率集計・データ検索・集計業務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	11-1 国際疾病分類論 11-1-1 わが国の人口動態統計 1~2	1. 疾病分類とその意義 2. 国際疾病分類の使用目的
2	11-1-1 わが国の人口動態統計 3~4	3. 国際疾病分類のわが国の利用 4. 国際疾病分類を利用した統計分類法
3	11-1-2 国際疾病分類 (ICD) の歴史 1~2 11-1-3 国際疾病分類 (ICD) の現状	1. 「国際疾病分類」誕生までの歴史 2. 「国際疾病分類」誕生とその後 11-1-3 国際疾病分類 (ICD) の現状

4	11-1-4 国際疾病分類 (ICD) の構造 1~2	1. ICD-10 編さんの基準 2. 国際疾病分類第 10 回改訂 (ICD-10 (2013 年版) の基本体系
5	11-2 国際統計分類ファミリー論 11-2-1~11-2-2 1. 国際生活機能分類 (ICF)	11-2-1 国際統計分類ファミリー (WHO-FIC) の概念と構想 11-2-2 国際統計分類ファミリーに含まれる分類 1. 国際生活機能分類 (ICF)
6	11-2-2 1. 国際生活機能分類 (ICF)	1. 国際生活機能分類 (ICF)
7	11-2-2 2. 国際疾病分類—腫瘍学 (ICD-O) 3. 医療行為に関する分類と ICHI	2. 国際疾病分類 (ICD-O) 3. 医療行為に関する分類と ICHI
8	11-3 国際疾病分類の利用 11-3-1 原死因選択ルール 1. 死因の定義と死亡診断書	11-3-1 原死因選択ルール 1. 死因の定義と死亡診断書
9	11-3-1 2. 原死因の選択ルール 3. 各原則・ルールの内容	2. 原死因の選択ルール 3. 各原則・ルールの内容
10	11-3-1 3. 各原則・ルールの内容 4. 周産期死亡について 11-3-2 主要病態の コーディングと再選択ルール	3. 各原則・ルールの内容 4. 周産期死亡について 11-3-2 主要病態のコーディングと再選択のルール
11	11-3-2 1. 主要病態の定義 2. 主要病態の再選択ルール 3. コーディングのガイドライン	1. 主要病態の定義 2. 主要病態の再選択のルール 3. コーディングのガイドライン
12	11-3-3 診断群分類 (DPC) における 国際疾病分類 (ICD) の利用 1. DPC と診療情報管理士 2. DPC と ICD コーディング	1. DPC と診療情報管理士 2. DPC と ICD コーディング
13	11-3-4 ICD を用いるうえでの注意 点 1. コーディングの目的 2. コーディングに際しての心構え 3. 情報の精度を高めるために	1. コーディングの目的 2. コーディングに際しての心構え 3. 情報の精度を高めるために
14	評価テスト	評価テストの実施
15	振り返り	振り返り

16	総まとめ①	11 章の総まとめ①を実施
17	総まとめ②	11 章の総まとめ②を実施
18	総まとめ③	11 章の総まとめ③を実施

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	国際統計分類Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	国際統計分類Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理Ⅲ		出版社	一般社団法人日本病院会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	① I C D - 1 0 の基本体系と各章の特徴を理解する。				
	② 正確な疾病コードが付与できるようにコーダーとしての技術の習得をする。				
到達目標	① 診療情報管理士病院実習・就職に必要な診療情報管理士の知識を習得する。 ② 認定試験に必要な知識を習得する。				
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	国際統計分類Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	吉井寛子		実務経験	○	
実務内容	実務経験 8 年・疾病登録・統計業務・がん登録・カルテ開示・サマリ作成率集計・データ検索・集計業務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	12-1 国際疾病分類の基本	・ コーディングの目的、注意事項を理解し正確な分類を目指す ・ 認定試験で出題傾向にある、編さんの基準、特長について理解する
2	12-1 国際疾病分類の基本	ICD1 巻、3 巻の使用方法、複数・複合・二重分類他について理解する
3	12-1 国際疾病分類の基本	12-1-7～12-1-9 用語、病名の構成、索引方法について理解する 12-2-17～12-2-20 各章の特徴、コーディングについて理解する ※コードの付け方、注意点も一緒に習得する 12-2-21～12-2-22 原死因コーディングについて理解する
4	12-2 各章の疾病分類体系の理解	12-2-1 第Ⅰ章、第Ⅱ章 各章の特徴、コーディングについて理解する
5	12-2 各章の疾病分類体系の理解	12-2-2 第Ⅱ章 新生物の種類、組織形態について理解する

6	12-2 各章の疾病分類体系の理解	同上
7	12-2 各章の疾病分類体系の理解	12-2-3～12-2-14 各章の特徴、コーディングについてを 3 回に分けて理解する ※コードの付け方、注意点も一緒に習得する
8	12-2 各章の疾病分類体系の理解	同上
9	12-2 各章の疾病分類体系の理解	同上
10	12-2 各章の疾病分類体系の理解	12-2-15～12-2-16 妊娠、分娩、産褥、周産期の注意点について理解する
11	12-2 各章の疾病分類体系の理解	同上
12	12-2 各章の疾病分類体系の理解	12-2-17～12-2-20 各章の特徴、コーディングを 2 回に分けて理解する 12-2-21～12-2-22 原死因コーディングについて理解する
13	12-2 各章の疾病分類体系の理解	同上
14	評価テスト	評価テストを実施
15	振り返り	テスト解説・振り返り（補てんが必要な部分を重点的に実施）
16	総まとめ①	12 章の総まとめ①を実施
17	総まとめ②	12 章の総まとめ②を実施
18	総まとめ③	12 章の総まとめ③を実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	診療情報管理 II		
必修選択	選択	(学則表記)	診療情報管理 II		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	・ 診療情報管理士テキスト 診療情報管理 III ・ 診療情報管理士の業務指針 2021(コピ-)			出版社	一般社団法人日本病院会

科目の基礎情報②

授業のねらい	・ ナンバリングやファイリングといった、診療情報管理士に必要な技能全般を学ぶ。				
到達目標	診療情報管理士認定試験に向けて教科書の内容を理解し、且つ現場で活かせるようにする。				
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	鈴木留奈			実務経験	○
実務内容	医療事務職員として半年勤務（入院算定が主） 診療情報管理士として 5 年半勤務（診療情報担当係として）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	9-1 診療情報管理士について	・ 診療情報管理士とは何かを理解する ・ 診療情報管理士の業務指針を理解する
2	9-2 診療情報管理士に求められる資質	・ 必要な知識と技能、視点について理解する
3	9-3 診療情報管理士の基本業務	・ 診療情報を体系的・一元的に管理する業務とその実施方法について理解する ・ 診療情報データを安全に保存・管理する業務について理解する ・ 診療情報を点検・管理する業務について理解する ・ 診療情報を有効に活用する業務について理解する ・ 診療情報を提供する業務について理解する
4	同上	同上

5	9-4 個人情報保護の視点からの保管管理	・「第三者提供の制限」について理解する ・「開示の求めに応じる義務」について理解する ・「訂正等の求めに応じる義務」について理解する
6	9-5 紙カルテ運用における診療情報管理	・ナンバリング（番号法）、ファイリング(保管法)について理解する
7	同上	・保存期間、保存方法、パーキングについて理解する ・紙カルテの管理方式について理解する
8	同上	・紙カルテの貸出管理について理解する ・紙カルテの回収について理解する
9	同上	・紙カルテの記載内容の点検について理解する
10	9-6 電子カルテ運用における診療情報管理	・電子カルテの運用、位置づけ、システム障害時の対応、電子カルテの記録・運用指針について理解する ・電子カルテに記載する場所の明確化について理解する
11	同上	・診療録に作成された情報の保存について理解する ・電子カルテの点検・個人情報保護への対応について理解する
12	9-7 診療情報の提供に係る業務	・院内職員・院外者・患者への情報提供について理解する ・医療機能情報の提供制度について理解する
13	9-8 診療情報管理士による改善への取り組み 9-9 診療情報管理士の活動組織	・医療の質の評価、医療安全管理、チーム医療、病院経営について理解する ・診療情報管理部門、診療情報管理委員会、適切なコーディネートに関する委員会について理解する
14	9 章テスト	・40 分程度のテストを実施
15	テスト解説	・テストの振り返り、総まとめ
16	総まとめ①	・9 章の総まとめ①を実施
17	総まとめ②	・9 章の総まとめ②を実施
18	総まとめ③	・9 章の総まとめ③を実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	診療情報管理Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	診療情報管理Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理Ⅲ		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①DPC 制度やがん登録制度について実務に必要な知識を習得する。 ②業務連携がある医師事務作業補助者の仕事内容・施設基準の知識を習得する。		
到達目標	①診療情報管理士として病院就職に必要な診療情報管理士の知識を習得する。 ②認定試験に必要な知識を習得する。		
評価基準	小テスト 30%、確認テスト 40%、授業姿勢 30%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	診療情報管理士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	盛永剛	実務経験	○
実務内容	北海道内の病院にて医事課約 10 年、診療情報管理士として約 20 年従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	10-1 DPC 制度と実務	・DPC と診療情報管理士（診療情報管理部門）との関わり ・影響調査（基礎調査）と診療情報管理士
2	10-1 DPC 制度と実務	・DPC と影響調査（基礎調査）
3	10-1 DPC 制度と実務	・DPC 対象病院としての基本的な基準 ・診療情報管理士に対する評価
4	10-1 DPC 制度と実務	・データ提出加算 ・病院情報の公表と診療情報管理士
5	10-1 DPC 制度と実務	診療録管理体制加算 1 と 2 について
6	10-1 DPC 制度と実務	・データ精度と診療情報管理士

7	10-1 DPC 制度と実務	・ DPC データの活用について理解する
8	10-1 DPC 制度と実務	・ DPC データの活用について理解する（概要説明）
9	10-1 DPC 制度と実務	・ DPC データの活用について理解する（データの理解）
10	10-2 医師事務作業補助業務について	・ 医師事務作業補助者の業務内容 ・ 医師事務作業補助者の業務と体制 ・ 医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わり
11	10-3 がん登録の業務	・ わが国のがん対策とがん登録 ・ がん登録の種類
12	問題集①	問題集 10-1～10-50 の演習を行う
13	問題集②	問題集 10-51～10-100 の演習を行う
14	問題集③	問題集 10-101～10-150 の演習を行う
15	問題集④	問題集 10-151～10-200 の演習を行う
16	問題集⑤	問題集 10-201～10-250 の演習を行う
17	確認テスト	確認テスト
18	振り返り	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	診療情報管理士対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	診療情報管理士対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）		出版社	一般社団法人 日本病院会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	基礎分野の復習を行い、診療情報管理士認定試験に必要な知識を身につける。				
到達目標	2 年次に学ぶ基礎科目の総復習を行うことにより、各章ごとの疾患について理解し説明することができる。				
評価基準	テスト 50%、小テスト 30%、授業態度 20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	臨床医学総論・臨床医学各論Ⅰ・臨床医学各論Ⅱ・臨床医学各論Ⅲ・臨床医学各論Ⅳ・ 臨床医学各論Ⅴ・臨床医学各論Ⅵ・臨床医学各論Ⅶ・臨床医学各論Ⅷ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山本 美穂		実務経験	○	
実務内容	北海道内の病院（病棟）にて 4 年間勤務。そのほか、検診センター、クリニックにて勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	はじめに	診療情報管理士認定試験の基礎分野について
2	3章 外傷学、先天性異常等含む	・病気の原因 ・先天奇形、変形および染色体異常 ・損傷、中毒、その他の外因の影響 ・小テスト
3	同上	同上
4	4章 感染症および寄生虫症	・感染症および寄生虫症 ・小テスト
5	同上	同上

6	5 章 新生物	・新生物とは ・悪性新生物 ・小テスト
7	同上	同上
8	6 章 血液・代謝・内分泌等	・血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 ・内分泌、栄養および代謝疾患 ・小テスト
9	同上	同上
10	同上	同上
11	同上	同上
12	7 章 精神・脳神経・感覚器系統	・神経および行動の障害 ・神経系の疾患 ・眼および付属器の疾患 ・耳および乳様突起の疾患 ・小テスト
13	同上	同上
14	テスト	これまで学習した内容のテスト
15	まとめ	テスト内容の振り返りとまとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	診療情報管理士対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	診療情報管理士対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）		出版社	一般社団法人 日本病院会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	基礎分野の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う。				
到達目標	2 年次に学ぶ基礎科目の総復習を行うことにより、各章ごとの疾患について理解し説明することができる。				
評価基準	テスト 50%、小テスト 30%、授業態度 20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	臨床医学総論、臨床医学各論Ⅰ・臨床医学各論Ⅱ・臨床医学各論Ⅲ・臨床医学各論Ⅳ・ 臨床医学各論Ⅴ・臨床医学各論Ⅵ・臨床医学各論Ⅶ・臨床医学各論Ⅷ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	一條 理絵		実務経験	○	
実務内容	北海道内の病院、保健センター、デイサービスにて計 1 6 年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	前期の復習	確認テスト
2	8章 循環器・呼吸器系	・循環器系の疾患 ・呼吸器系の疾患 ・小テスト
3	同上	同上
4	同上	同上
5	同上	同上

6	9章 消化器・泌尿器系	・消化器系の疾患 ・腎尿路生殖器系の疾患 ・小テスト
7	同上	同上
8	同上	同上
9	同上	同上
10	10章 周産期系	・妊娠、分娩および産褥 ・周産期に発生した病態 ・小テスト
11	同上	同上
12	11章 皮膚・筋骨格系等	・皮膚および皮下組織の疾患 ・筋骨格系 ・小テスト
13	同上	同上
14	テスト	これまで学習した内容のテスト
15	まとめ	テスト内容の振り返りと総まとめ